

# 指定管理者総合評価シート

## 1 施設の概要

施設名	豊岡市立湯の原温泉オートキャンプ場	所在地	豊岡市日高町羽尻1510番地
設置目的	地域資源を活用し、都市住民と地域住民との交流により農林業の活性化を図り、以って住民の福祉の向上に資する。		
規模	<b>【建物概要】</b> コテージ 木造・2階建 全13棟 (5人棟…52.41㎡×10棟、52.99㎡×2棟、10人棟…98.95㎡×1棟) 湯の原館(温泉施設) 鉄骨造・平屋建(一部木造) 504.56㎡ 管理棟 木造・平屋建 150.00㎡ <b>【主な施設】</b> 区画サイト(50区画)、フリーサイト(29区画)、イベント広場、遊具広場、親水広場、コテージ、バーベキュー棟、湯の原館(温泉施設)	設置年月日	1998(平成10)年7月

## 2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	湯の原温泉オートキャンプ場組合	指定期間	2018年4月1日から2021年3月31日まで	
指定管理業務の内容	(1) オートキャンプ場の使用及びその制限に関する業務 (2) オートキャンプ場の維持管理に関する業務	指定管理料(千円)	なし	

## 3 総合評価

施設所管課の評価 (二次評価)	管理運営方法の見直し	
	指定期間中の導入効果及び課題	<b>【導入効果】</b> 現指定管理団体は、当該施設の性質、規模及び機能を熟知した地元羽尻区民で構成されているが、現指定管理期間内の良好な運営体制を維持するため、運営ノウハウを持つ事業者による経営支援(企画、人的支援等)を受けながら施設の管理運営を行っている。適切な施設の維持管理とサービス向上に努めており、2019年度の施設利用者は前年度から2,500人以上増加した。 <b>【課題】</b> 温泉付きのオートキャンプ場として、市内外から多くの集客がある施設だが、開設から既に20年以上が経過し、老朽化した施設の安全性を確保する必要がある。特に、基幹設備である温泉ボイラーは経年劣化が著しく、設置・点検業者からも早期の設備更新を強く勧められている。
	今後の管理形態	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 直営
	理由	①管理運営経費の比較については、直営に戻すよりも指定管理者制度を継続の方が経費面で有利であると考えられる。 ②事業の実施内容については、限られた予算の中で利用者増に向けた取組が積極的に行われており、施設の魅力アップにつながっている。 上記の理由により、引き続き指定管理者制度を継続するが、公共施設再編計画に基づく施設の方向性である「民間への施設譲渡」を視野に手続を進める。
	指定管理者制度を継続する場合	
	選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募
	非公募の場合、その理由	
	今後の改善点	
温泉施設を中心に、設備等の更新や大規模な修繕が必要な時期に来ているが、市は施設のランニングコストをできるだけ負担しない方針である。効果的で効率的な施設の管理運営が図れるよう、リスク分担の考え方など指定管理者との費用負担について大幅な見直しを行う必要がある。		
制度(所管部等)の評価	指定管理制度導入の効果が認められるため、引き続き同制度による管理運営が適当であると判断する。また選定方法については、公募により指定管理者の募集を行うこととする。ただし、今後「民間への施設譲渡」の条件が整った場合は、指定期間中であっても速やかに施設廃止と民間譲渡の手続を進めることとする。	